

再春館製薬所が令和5年度 文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞を受賞 環境に配慮した通信販売用発送箱を考案しプラスチックゼロを実現

株式会社再春館製薬所（本社：熊本県上益城郡益城町、代表取締役CEO 西川正明、以下再春館製薬所）は、製造部門を担当する社員による環境配慮型の通信販売用プラスチックゼロ発送箱を考案し、「令和5年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞^{※1}」を受賞しました。

※1.令和5年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞とは

科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、日本の科学技術水準の向上に寄与することを目的としています。その中で、創意工夫功労者賞は、工場等における職長以下の工員、農林水産業従事者、医療補助者、研究所における研究補助員、技能職員及びこれと同程度の者であって、優れた創意工夫によって各職域における技術の改善向上に貢献した者が表彰されます。（参照：令和5年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 推薦要領より）

今回の取り組みを推進した社員は、令和5年4月20日（木）に熊本県庁にて表彰されます。令和5年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞は全国で480名が受賞。（熊本県からは5名が表彰され、うち2名が再春館製薬所の社員）

■ 発送業務における省資源化や無駄の排除

再春館製薬所は、基礎化粧品「ドモホルンリンクル」などの製品を通信販売で全国へ発送しています。発送の際に使用する箱は、改ざん防止や耐衝撃性において高いレベルが求められ、さらに製品が破損しないように箱の中に緩衝材を入れたり、開封防止の観点から、これまでは箱の外側にプラスチック製の結束バンドで保護していました。

通信販売の製品発送業務においても、省資源化や無駄の排除は大きな課題であり、生活者の環境保護に対する意識の向上から、過剰な包装や、再利用できずに廃棄されてしまう緩衝材やプラスチック製の結束バンドについては、削減が求められています。

■ 発送箱の改良は環境面、作業面でもよい効果を生み出す

改良した発送箱は、プラスチック製の結束バンドによる開封保護を止め、切り込み部分を手で開く形に変更。切り込み部分のカット形状を改良することで、密封性を維持しながら、安全性を担保しています。

1. 資源削減の環境配慮

内容物を保護する緩衝材も、紙の仕切りを使い商品が動かないように固定することで不要とし、密封性は維持しながら、年間6トン以上のプラスチック資材を削減。

2. 作業効率化

発送する製品の大きさや品数にあわせて使い分けていた発送箱の種類を26種類から18種類へと減らすことで、梱包作業も従来と比べ30%改善、年間約4,500時間の労働時間を削減。



【写真】改良した発送箱

■ 今後も、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを

持続可能な視点を加えながら提供する価値や品質を向上させる企業活動に対する取り組みを認められました。今回の受賞を機に、さらなる自信と誇りを持ち、次なる創意工夫を生み出すために、今後も、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを積極的に進め、社員一人ひとりが自発的に参加し、共に成長することに努めます。

本件に関するお問い合わせ

株式会社再春館製薬所 熊本県上益城郡益城町寺中1363-1 <https://www.saishunkan.co.jp/>
ブランドコミュニケーション部 広報・PR 池田 栄治 080-4135-4213（担当直通） e.ikeda@saishunkan.co.jp
TEL：096-289-4444（代表） FAX：096-289-6000